

議員 佐藤 龍彦

- 1 運転免許証の自主返納促進に向けた、高齢者向けの公共交通サービスの周知について、その方法と課題を伺う。

(回答)

高齢者の運転免許証の自主返納を促進するためには、自主返納した方の返納後の公共交通手段についての支援策について、事前に周知を図る必要があると考えております。

本市における高齢者向けの公共交通施策といたしましては、高齢者公共交通機関割引証購入助成事業がありますが、ホームページや広報いとうへの掲載、高齢者福祉課や伊東警察署等の窓口でのチラシの配架のほか、前年度に当該事業を利用した方や、新たに対象年齢である70歳となった方の全員に対して、購入費助成ハガキを送付することで、周知を図っております。

そのほか、日頃、高齢者の相談支援に携わっているケアマネージャー等も、免許返納を検討している方やご家族に制度の説明を行っておりますが、特に自家用車が無いと生活に不便を来す方につきましては、返納に繋がらない場合もあることが課題となっております。

また、運転免許証の自主返納の申請に来られた方の中には、市が行う高齢者向けの公共交通施策について、認知していない方もいらっしゃることから、申請時には県が行うタクシーの割引制度や、市内店舗で受けられるサービス等も合わせて掲載した、チラシを申請者に配布しております。

今後につきましても、高齢者の運転免許証の自主返納の促進に努め、各種制度について積極的に周知してまいりたいと考えております。

- 2 本市の中学校における特別支援学級の新設について、どのように考えているか伺う。

(回答)

中学校の特別支援学級につきましては、対島中学校に新設を要望する地域や保護者の声が多くあり、現在、特別支援学級の設置に向け、設置場所や人的配置等の課題につい

て、その解決策を協議し、前向きに検討しているところであります。

南中学校以外の学校に特別支援学級を新設する課題といたしましては、1学級の開設となることが見込まれるため、特別支援学級担当として、教員が1人配置となることで、部活動や教科担任の配置など、小学校とは異なる様々な対策が必要となってくることであります。

1学級のみでの開設であっても、生徒が充実した教育を受けられるように慎重に協議し、中学校における特別支援学級の新設に向けた取組を今後も進めてまいります。